



2022年 2月 9日  
第131号

# JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 助川 一実  
編集 情宣 担当  
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## 申18号 2022年3月ダイヤ改正に 関する申し入れ 団体交渉を行う その③

### 8. 特急「踊り子」「湘南」の車掌業務を変更する考え方を示すこと

**会社回答** お客さまのご利用状況や特急券の発売状況等に基づき乗務体制の見直しを実施するものである。

#### 組合

ダイヤ改正後の車掌乗務体制について示すこと。

乗務体制を見直す経緯について示すこと。

中間乗務員室におけるドア扱いについて、考え方を示すこと。

基本動作の変更はどのように考えているのか。

設備の変更はどのように考えているのか。

ダイヤ改正に整備が間に合うのか。

#### 会社

9両の「踊り子」と「湘南」は1人乗務となる。また、上り「湘南」も1人乗務となる。14両の「踊り子」と下り「湘南」は現行と同様となる。

新着席サービス開始以降、実際に乗り込みながら検証してきた。えきねっとやチケットレスの普及により、1人乗務が可能と判断した。

必ず中間でドア扱いするというものではなく、後部運転台に戻らずとも、近い中間乗務員室でドア扱いを可能とするものである。下り列車の場を想定している。

基本動作の変更が必要となる。駅・運転士・指令にも周知が必要であり、教育・訓練を行っていく。

中間用の車掌用停目を整備する。既存の停目と混同しないデザインとしていく。G車の対応用にリモコン式発車ベルの車載を実施していく。

ほぼ準備ができていると聞いている。予算の関係上、大船と小田原を優先して整備する。

### 9. ダイヤ改正に関わる教育・訓練は、ダイヤ改正前までに全社員に周知・徹底すること。

**会社回答** 必要な教育・訓練は実施していく。

#### 組合

紙の行路表や時刻表はタブレットに完全移行するのか。

運行図表の個人貸与はどうか。

#### 会社

D-TAC は3月改正では本使用とはならない。システムの開発とメンテナンスの契約もあり、正式な使用開始時期は別途お知らせする。

運行図表は電子化され、タブレットで参照する形となる。紙の配布は各区所で必要最低限に絞り、コストダウンを図る。

### 10. ダイヤ改正に関わる設備等は、ダイヤ改正前までに整備すること。

**会社回答** 必要な設備は整備していく。

#### 組合

改正に向けた具体的な準備について示すこと。

#### 会社

- ・E257系の車両運用変更にあわせた停目整備(小田原駅)
- ・特急「湘南」大崎停車に合わせた駅案内サイン類の変更
- ・横浜線内の相模線直通廃止に伴う案内サイン類の変更
- ・藤沢駅始発列車の廃止に伴う整列乗車ラインの撤去

などである

### 11. ダイヤ改正の内容について、お客さまに周知を図ること。

**会社回答** 必要な周知は行っている。

#### 組合

具体的な準備について示すこと。

#### 会社

- ・駅頭ポスターやパンフレットによる案内
- ・JR時刻表への案内掲載

などである

**区別交渉に向けて職場議論を深め、労働条件の改善を私たちの手でかちとろう！**